

米国資源保護制度の環境史

——世紀転換期における環境保全運動と土地保護政策の展開——

もりしたなおき

森下直紀

アメリカ合衆国の国立公園を扱う先行研究の多くは、ヨセミテ国立公園におけるダム開発論争を、国立公園の保護者と環境破壊者との論争という二項対立的な観点から論述する。本論では、合衆国成立以後の資源保護制度の展開を概観しながら、合衆国における初期環境保護運動である保全運動の発展を記述する。保全運動には保護か開発かという二項対立では捉えきれないダイナミズムがある。

第1章では、資源保護制度の前史として、合衆国が成立する以前から存在し、独立宣言後も、同様の森林保護地域として軍艦の建材を確保するために設けられた海軍用森林保護区、および国立保留地の設立経緯を概観した。国家が特定の地域を収容、保護、管理するために土地を保留（Reserve）することは、合衆国建国以前から用いられた政策手段であったことを示した。

第2章では、保全運動の思想的 content について、保全運動がどのような概念的な射程によって展開されてきたのか、当時の保全運動の中心的な推進者であったピンショ어의言説からこれを示す。そして、保全運動が開始される背景として、入植者の資源搾取による土地の荒廃や土地法の失敗の反省に立って、土地を科学的に評価し、東部地域に比べ年間降水量が少ない西部地域の入植を促進するため、土地、水資源の保護が求められた結果、保全運動が立ち上がっていく状況を記述した。

第3章では、資源保護地域の恩恵を受ける側が、どのような政治経済的要因から資源保護地域の利用を求めるようになったのかを明らかにするべく、サンフランシスコの水道の事例から明らかにした。これは地方レベルでの最初期の保全運動である。

第4章では、異なる地域レベルの保全運動が対立する事例として、ヨセミテ国立公園のヘッチ・ヘッチィ渓谷における水源開発問題を取り扱った。国家的なレベルと地方レベルにおいて展開された保全議論の交錯が意味するものが何であるか。そしてこの対立の議論がなにをめぐって行われたのかを明らかにし、国立公園制度の誕生の背景にある政治経済的な対立構造を分析した。

終章では、先行研究によって、国立公園の開発論争をめぐる保護か開発かという二項対立を象徴的に表すとされる、ピンショーとミューアの人物対立を再検証する。世紀転換期における保全概念が、開発と保護という対立を超えたところで、政治経済的利害関係をもち、アメリカ合衆国の土地資源保護・管理の制度的議論を展開させた、と結論する。

The Environmental History of Resource Protection System in the United States: Developments of Conservation Movements and Land Protection Policies around Centurial Turn

もりした なおき

Morishita, Naoki

Most of previous studies dealing with the United States National Park discourse on a controversial dam in Yosemite National Park from the perspective of a dichotomy between preservationists and wreckers of national parks. This dissertation describes the development of conservation movements as early environmental actions in the United States of America, while an overview of the development of resource protection system established after the foundation of the United States. Conservation movements have their own dynamism, which can not capture in the discussions of dichotomy of whether the protection or development.

In Chapter 1, the prehistory of the system as a resource protection, there is established before the Declaration of Independence, for the forest reserve was established to ensure the Navy's ship building. Chapter 2, the conception of conservation movements showed from the discourse of Gifford Pinchot, who was promoter of the movements describing how the situation got started. Discussions of chapter 3 clarified how western cities such as San Francisco developed its policy to obtain benefit of resource protection areas. In Chapter 4, analyzing conflicts in political and economic situation showed what the Hetch Hetchy controversy meant in the Yosemite National Park.

In the final chapter, by previous studies, the conflict between Pinchot and Muir represents a symbol of the dichotomy of whether a dispute over protection or development of park development; however, this dissertation concluded that conservation concept, where a confrontation over the development and protection, developed the debate of the system of land resources protection and management of the United States.